

公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表 学部【平成18年度以降開講科目】【平成29年度以前入学生に適用】

大学における必要な科目			A:含まれる事項	B:本学授業科目	読み替え可能な 受講年度	備考
大学における必要な科目名	履修方法					
I	1 心理学概論	I (1~5)については、3科目以上を履修する。	① 心理学の成り立ち ② 人の心の基本的な仕組み及び働き	心理学	平成18年度以降	
	2 臨床心理学概論		① 臨床心理学の成り立ち ② 臨床心理学の代表的な理論			
	3 心理学研究法		① 心理学における実証的研究法(量的研究及び質的研究) ② データを用いた実証的な思考方法 ③ 研究における倫理	教育心理学実験 I B 教育心理学実験 II	平成18年度以降 平成18年度以降	2科目のうちいずれか1科目
	4 心理学統計法		① 心理学で用いられる統計手法 ② 統計に関する基礎的な知識	教育統計学実習 I 教育統計学実習 II 教育統計学演習 I 教育統計学演習 II	平成18年度以降 平成18年度以降 平成25年度以降 平成25年度以降	4科目のうちいずれか1科目
	5 心理学実験		① 実験の計画立案 ② 統計に関する基礎的な知識	教育心理学実験 I A	平成18年度以降	
II	6 知覚・認知心理学	II (6~12)については、4科目以上を履修する。	① 人の感覚・知覚等の機序及びその障害 ② 人の認知・思考等の機序及びその障害	認知発達心理学特講	平成20年度以降(隔年開講)	
	7 学習・言語心理学		① 人の行動が変化する過程 ② 言語の習得における機序			
	8 感情・人格心理学		① 感情に関する理論及び感情喚起の機序 ② 感情が行動に及ぼす影響 ③ 人格の概念及び形成過程 ④ 人格の類型、特性等	臨床人格心理学特講	平成18年度以降	
	9 神経・生理心理学		① 脳神経系の構造及び機能 ② 記憶、感情等の生理学的反応の機序 ③ 高次脳機能障害の概要	心理生理学 神経生理	平成18年度以降 平成20年度、平成21年度	2科目のうちいずれか1科目
	10 社会・集団・家族心理学		① 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 ② 人の態度及び行動 ③ 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響	対人関係論特講 人間関係論	平成20年度以降 平成18年度、平成19年度	2科目のうちいずれか1科目
	11 発達心理学		① 認知機能の発達及び感情・社会性の発達 ② 自己と他者の関係の在り方と心理的発達 ③ 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 ④ 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 ⑤ 高齢者の心理	発達心理学講読 幼児心理学総論 ※ 発達心理学演習 ※ 生涯発達心理学	平成18年度以降 平成18年度以降 平成18年度以降 平成18年度以降	4科目のうちいずれか1科目 ※印の科目について一つの必要な科目に対応している開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として記入することはできない。
	12 障害者・障害児心理学		① 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 ② 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援	発達障害教育学概論 障害児診断学 障害児教育方法 重複障害教育総論 知的障害心理学概論	平成18年度以降 平成18年度以降 平成18年度以降 平成18年度以降 平成20年度以降	5科目のうちいずれか1科目

公認心理師試験の受験資格取得要件に係る科目の読み替え表 学部【平成18年度以降開講科目】【平成29年度以前入学生に適用】

大学における必要な科目			B: 本学授業科目	読み替え可能な 受講年度	備考	
大学における必要な科目名	履修方法	A: 含まれる事項				
Ⅲ	13 心理的アセスメント	Ⅲ (13~16)については、2科目以上を履修する。ただし、16については、施設の分野及び時間数を問わない。	① 心理的アセスメントの目的及び倫理 ② 心理的アセスメントの観点及び展開 ③ 心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査) ④ 適切な記録及び報告	精神検査法演習Ⅰ 精神検査法演習Ⅱ	平成18年度以降 平成18年度以降	2科目のうちいずれか1科目
	14 心理学的支援法		① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界 ② 訪問による支援や地域支援の意義 ③ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 ④ プライバシーへの配慮 ⑤ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援 ⑥ 心の健康教育	心理療法論	平成18年度以降	
	15 心理演習		知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、かつ、事例検討で取り上げること。 (ア) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援等 (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ) 多職種連携及び地域連携	臨床心理学演習	平成18年度以降	
	16 心理実習(80時間以上)		知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野の施設において見学等による実習を行うこと。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (イ) 多職種連携及び地域連携			
Ⅳ	17 健康・医療心理学	Ⅳ (17~21)については、2科目以上を履修する。 ただし、17をVとして履修した場合は、18から21までのうち2科目以上を履修する。	① ストレスと心身の疾病との関係 ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援 ④ 災害時等に必要な心理に関する支援	健康科学論	平成18年度以降	
	18 福祉心理学		児童の心理学 児童福祉概説	平成18年度以降 平成18年度以降	4科目のうちいずれか1科目 ※印の科目について一つの必要な科目に対応している開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として配入することはできない。	
			※ 発達心理学演習 ※ 生涯発達心理学	平成18年度以降 平成18年度以降		
			① 福祉現場において生じる問題及びその背景 ② 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 虐待についての基本的知識			
	19 教育・学校心理学		① 教育現場において生じる問題及びその背景 ② 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援	教育心理学演習 教育心理学 教育心理学基礎講読	平成18年度以降 平成18年度以降 平成18年度以降	3科目のうちいずれか1科目
20 司法・犯罪心理学	① 犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 ② 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援					
21 産業・組織心理学	① 職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援 ② 組織における人の行動					
Ⅴ	17 健康・医療心理学	Ⅴ (17, 22, 23)については、1科目以上を履修する。なお、17をVとして履修した場合は、Ⅳの履修方法を参照。	① ストレスと心身の疾病との関係 ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援 ④ 災害時等に必要な心理に関する支援	健康科学論	平成18年度以降	
	22 人体の構造と機能及び疾病		① 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 ② がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病			
	23 精神疾患とその治療		① 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。) ② 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 ③ 医療機関との連携			